2023年
10月号

日本鍍金新報

www.mekkishinpou.jp

発行所・産業通信株式会社
〒103-0001　東京都中央区日本橋小伝馬町17-17
☎　03(3662)8736～7
FAX　03(3661)7317
Eメール info@mekkishinpou.jp
発行人・中島新一郎
編集人・梶山英樹
発行日・毎月1回　発行10日

『測る』が支える未来の社会：「JASIS 2023」が開催

345社が出展し、16,115人が来場。JASIS WebExpo®も同時公開

一般社団法人日本分析機器工業会（JAIMA・東京都千代田区・足立正之会長㈱堀場製作所 代表取締役社長）と、一般社団法人日本科学機器協会（JSIA・東京都中央区・長谷川壽一会長（英弘精機㈱ 代表取締役社長）の共同で主催による最先端科学・分析システム&ソリューション展「JASIS（ジャシス）2023」が、9月6日から8日の3日間、幕張メッセ国際展示場にて開催された。

JASISは、科学の進歩を支える、分析機器、科学機器メーカー・ディーラーが一堂に会する最先端科学・分析システム&ソリューション展。各種分析・計測の入口から出口まで一貫して展示される展示会として、欧州のanalytica、米国のPittconと並ぶ、分析・計測に関するアジア最大級の展示会。隣接する会場では、出展企業による新製品・新技術を紹介する新技術説明会も開催。トピックスセミナーとJASISスクエアに注目が集まっていた。

また、実際の展示会と連動し、オンライン配信による、JASIS WebExpo®（Web展示会）も7月から公開されている。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

日本分析機器工業会 足立正之会長の挨拶

JASIS2023では「Come Touch JASIS」を合言葉に「来場者の皆様の実機を見たい」、「直接話をしたい」などの要望にお応えすべくリアル展示への意識を一層高め、出展社の皆様と共に準備を進めてまいりました。JASIS2023のメッセージは「『測る』が支える未来の社会」とし、

（2めんへ続く）

表面処理の総合設備
日本プラント工業株式会社
本　社　〒120-0015 東京都足立区足立2-40-16
電話 03(3852)1161　FAX 03(3852)1165
館林工場　〒374-0123 群馬県邑楽郡板倉町飯野2334-1
電話 0276(82)2521　FAX 0276(82)2525

TG BRAND　一液中没し加熱一　▶新世代商品◀
テフロン潜水 UU・フロン® ヒーター
あらゆる槽に選ばれる！　CE（安全）マーク認証
強酸・強アルカリ・純水向　テフロン被覆 1mm 厚ヒーター
実績多数！　液にやさしい！！　NEW 新モデル ブラックフロン
液温▶ 90℃MAX
●省エネ・効果的昇温
●省スペース
●薬液を壊さない
●モデル多機種
●230V4P,2P,110V 0.5～9kW
◎海外向 400V あり
UFAモデル　比重 1.1　比重 1.15　UBT
GLOBAL TRUST HEATERS BRAND — SINCE 1947
谷口ヒーターズ株式会社
http://www.taniguchi-heaters.com　▶カタログご請求◀
TEL 0438-63-1113(代)　お求めは協約販売店へ

表面処理業界の総合プランナー
SANMATSU
めっきのことなら何でもお任せ下さい！
株式会社 三松
〒144-0051　東京都大田区西蒲田7丁目57番11号
本社　TEL 03-3733-7131　FAX 03-3739-0321
湘南　TEL 0466-34-1711　FAX 0466-34-0581
横浜　TEL 045-461-6088　FAX 045-461-6077
www.sanmatu.co.jp

メッキ液・エッチング液の薬液濃度計

検出器／変換器一体型 銅濃度／ニッケル濃度計	検出器／変換器分離型 銅濃度／ニッケル濃度計	プロセス用!! 電磁誘導式　液体濃度計	プローブ型! 硫酸銅／ニッケル濃度計
CU-800／Ni-800	CU-502／Ni-502	EMC-502	CU-5Z／Ni-5Z
簡単取付 簡単操作 高機能			
Cu-800 高濃度：0.0～80.0 g/ℓ (Cu) 低濃度：0.00～20.00 g/ℓ (Cu) Ni-800 高濃度：0.0～200.0 g/ℓ (Ni) 低濃度：0.00～20.00 g/ℓ (Ni)	工業用　502シリーズ 硫酸銅モニター　CU-502 ニッケルモニター　Ni-502 pHモニター　PC-502 ORPモニター　OC-502 フッ素イオンモニター　KF-502 電磁濃度計　EMC-502	電気的無接触型で 高濃度薬液濃度測定 測定方式：電磁誘導式センサー 測定対象：塩酸、硫酸、硝酸、その他 測定範囲 測定単位：サンプルにより異なります。（応相談）	プローブ型　5Zシリーズ ○銅濃度計　CU-5Z 銅濃度を0.0～76.0g/ℓの範囲で測定 ○ニッケル濃度計　Ni-5Z ニッケル濃度を0.0～199.9g/ℓの範囲で測定 ○銅・ニッケル濃度計　CUNi-5Z 一台で銅とニッケル濃度を測定

KRK 笠原理化工業株式会社
〒340-0203 埼玉県久喜市桜田2丁目133番地8
TEL.0480-38-9151㈹　FAX.0480-38-9157
URL：http://www.krkjpn.co.jp

（1めんからの続き）

未来に向かってゆたかな暮らしを、創りながら科学技術の強化や新分野を含む各産業界への発展につなげるため、多様な最新情報を発信するよう努めてまいります。本年は約350企業・機関の分析計測機器や関連製品の展示と新技術説明会、トピックスセミナーなど約280のセミナー講演会を開催します。また、展示会場ではJASISスクエアを設置して、最先端のラボラトリーデジタルトランスフォーメーションの実機を交えたデモ展示、2003年のヒトゲノム計画解読完了宣言から20年を迎えることを記念した実機展示、出展社による製品紹介、関係団体研究機関の情報発信など充実の内容となっております。

さらに7年目を迎えるJASIS WebExpo®は、何時でも何処でもアクセス可能な情報配信サイトとして好評を頂いており、さらなるアクセス数向上を目指し、トップページの刷新を図りました。

このようにJASIS2023は最先端科学・分析システムおよびソリューションを紹介する展示会として、ご来場いただくすべての皆様方に、これまで以上に実り多き展示会になります様、主催者一同全力を尽くしてまいります。

日本分析機器工業会 足立正之会長

日本科学機器協会 長谷川壽一会長の挨拶

政府は今年2月にGX（グリーントランスフォーメーション）実現に向けた基本方針を閣議決定致しました。その背景には国際公約として「2050年カーボンニュートラル実現」を宣言したことに加えて、世界的なエネルギー安定供給への危機感と各国が国を挙げて脱炭素関連の大型投資を計画しているという世界的な潮流があると思います。GXを通じて、脱炭素・エネルギー安定供給、経済成長の3つを同時に実現するという政府の基本方針によって今後10年を見据えた取り組みが示されたものと受け止めております。JASISは、最新の理化学機器・分析機器を始めとする科学機器に関する技術および製品情報の発信拠点であり、あらゆる領域の研究開発や生産技術を支援する展示会です。また、重要な社会課題としてのDXを始めライフサイエンス、環境、食品等のトピックスにも注目し、諸企画を展開しております。日本科学機器協会と日本分析機器工業会はJASIS2013の開催を通して社会課題の解決に向けた研究開発や技術開発を支援し、将来に向けた科学技術の発展と産業の活性化を目指してまいります。出展企業の皆様や来場される皆様にはJASIS開催の意義にご理解と御協力をお願い申し上げますと共に、皆様の業容拡大や技術向上、情報収集の有益な機会として是非ともご活用頂きたいと願っております。私共主催者一同、精一杯努めてまいりますので御支援の程宜しくお願い致します。

日本科学機器協会 長谷川壽一会長

経済産業省 浦田秀行 大臣官房審議官の挨拶

本日JASIS2023が盛大に開催されることを心よりお慶び申し上げます。本展示会はアジア最大級の分析・科学機器の総合展示会として例年国内外から高い関心を集め多くの方が来場されていると承知をしております。ここ数年は新型コロナウィルス禍の開催となっておりましたが、今回は新型コロナウィルスが第5類へ移行して以降初の開催であり、これまで以上に多くの方々の来場が期待されるところでございます。また、オンラインで並行開催されているJASIS WebExpo®も今回で7回目を迎えており、リアルとオンラインの双方での取り組みも進められております。今回の展示会の開催に向けて準備に御尽力された関係者の皆様に改めて敬意を表しますと共に、本展示会を通じまして分析・科学機器協会の皆様のビジネス機会がより拡大され、今後の日本の経済・産業の発展を支える新しい技術、新しいビジネス、新しいソリューションが数多く生まれることを期待しております。

分析・科学機器は申し上げるまでもなく半導体・自動車、素材概要・食品等の、あらゆる産業の研究開発や、製造・品質管理に無くてはならない我が国の科学産業の発展・基盤ともいうべき重要な役割を担っておられます。コロナ禍を経て経済社会の対応が大きく変化した昨今、分析・科学機器の役割が益々重要なものとなることに疑いの余地はございません。その評価といたしまして直近の2022年度では国内生産額は6866億円、前年比15・4%増、輸出額は4862億円、前年比18・9%増と生産・輸出共に過去最高を記録して我が国、そしてグローバルな経済産業を支える基盤として重要な役割を担っておられます。昨今注目しておりますのはDXへの取組でございます。分析・科学機器業界におきましては、新素材・新製品の開発促進を見据えて複数の分析機器間におけるデータ形式の統一化・標準化に向けた事業を進めておられます。こうした取り組みは製造業の様々な分野における開発・製造プロセスに革新をもたらすものであり、経済産業省としても大いにご期待を申し上げ、引き続きご支援させて頂きたいと考えております。

経済産業省 浦田秀行 大臣官房審議官

特別対談
「望ましい未来社会の創造に向けて」を発刊

21世紀政策研究所では、5月、ドイツ ボン大学のマルクス・ガブリエル教授を迎え、十倉雅和経団連会長との特別対談を実施した。

対談では、当研究所 資本主義・民主主義プロジェクトの中島隆博研究主幹（東京大学東洋文化研究所所長）をコーディネーターとして、十倉会長とガブリエル教授が、世界の現状分析、資本主義や科学技術との向き合い方、未来社会のあるべき姿などについて、意見交換を行った。

そしてこの度、対談の様子をまとめた、特別対談「望ましい未来社会の創造に向けて」を発刊した。大胆かつ斬新な語り口で哲学界だけでなく実社会にもインパクトを与えてきたガブリエル教授が、日本の経済界に期待することとは。経団連のトップとして十倉会長はどう応えるのか。刺激と示唆に満ちた議論の一部始終が掲載されている。

http://www.21ppi.org/theme/data/230926.pdf

出展社リポート

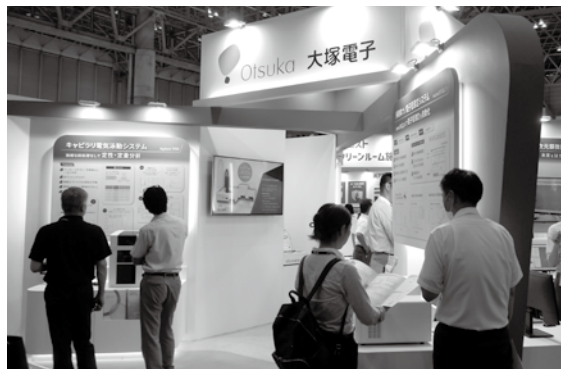
ケット科学研究所

試料を焦げつかせない加熱式水分計を始めとする各種水分測定機器や、塗装・めっき・フィルム厚み等皮膜測定用の機器を展示。注目だったのは、サンプルの水分を非破壊かつリアルタイムに測定可能な近赤外水分計。製造ラインに取り付けるインラインタイプ。使い捨てのポリ袋に入れたまま測定可能な卓上タイプ。持ち運び可能なハンディタイプの３つのタイプがある。

日立ハイテクサイエンス

「持続可能な社会の実現に貢献する日立ハイテク」をテーマに社会課題や業務課題を解決する最新のソリューションを提案した。「日頃の分析・解析業務でお困り事のある皆様、ぜひ日立ハイテクブースにお越しください。また、ブースにご来場いただけない方は、本年もWebEXPOでも各種コンテンツを掲載しておりますので是非WebEXPOもご覧ください」「リアル、オンラインどちらで参加の方も、日立ハイテクJASIS特設サイトをご確認ください。様々な特典もご用意しております」とPRしていた。

大塚電子



“大塚電子だからできる”光散乱/光計測”技術のご提案”をテーマに以下の製品などを紹介した。●ゼータ電位と粒子径から分散・安定性の評価が可能。マイクロレオロジーや粒子濃度、ゲル網目構造の解析も可能　ゼータ電位・粒子径・分子量測定システム　ELSZneo　●ナノ粒子を最大５０検体連続で測定可能　多検体ナノ粒子径測定システム nanoSA QLA+ オートサンプラー AS50　●球晶径・相構造のダイナミックス解析を容易に　高分子相構造解析システム PP-1000　●前処理なしで陽/陰イオン・有機酸・金属などの一斉分析　キャピラリ電気泳動システム Agilent 7100　●非破壊・非接触・顕微で高速・高精度に薄膜を計測　顕微分光膜厚計 OPTM series

日本電子

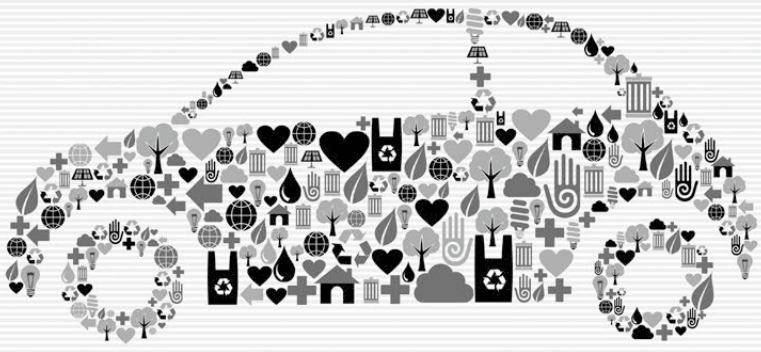
日本電子は理科学計測機器（電子光学機器・分析機器、計測検査機器）、半導体関連機器、産業機器、医用機器やそれに附帯する製品・部品の汎用品からハイエンド品まで多岐に渡る製品を展示。また、それら製品を使用したアプリケーションおよび関連した各種サービスの紹介を行っていた。

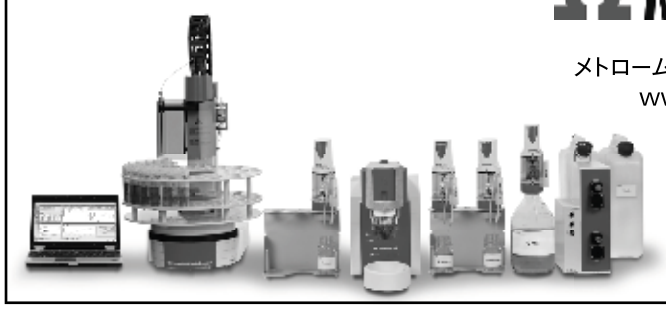
ハリオサイエンス

茨城県古河市に生産工場を持ち、国内では、業界一コストパフォーマンスに優れ、短納期を実現するハリオサイエンス㈱。「透明で腐食や熱に強い耐熱ガラス素材」供給に特化した企業。創業時から培ってきた耐熱ガラスについてのノウハウを生かし、「安心・安全」で「科学的侵食に強く、強酸・アルカリおよび熱的用途での高い耐久性のある」耐熱ガラス素材を提案する。

ブルカージャパン

「先端技術で作る未来」をテーマに、最先端の技術や評価手法を新技術発表会などで紹介した。また、展示会場では、同社取扱製品のNMR、ESR、TD-NMR、MRI、MALDI、微生物同定、ESI、GC、XRD、XRF、マイクロCT、AFM、バイオAFM、AFM-IR、白色干渉計、摩擦摩耗試験、ナノインデンター、電子顕微鏡用EDS他分析装置、μXRF、ハンドヘルドXRF、FT-IR、FT-NIR、ラマン分光計等の実機を展示し来場者への説明にスタッフが対応していた。

表面処理技術から
未来を創造する
JCU

Explorer in Surface Engineering
私たちは、創業以来、装飾・防錆めっき技術から発展した様々な表面処理技術の提供で、
自動車、エレクトロニクスなどの産業の成長を支えてきました。
これからも、長年培った知見と研究・開発力で、新たな表面処理技術を追求し、
ものづくりを支え、世界中の人々の豊かな生活に貢献します。
株式会社JCU
https://www.jcu-i.com/
本社：〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 16階　TEL：03-6895-7001　FAX：03-6895-7021
国内拠点：本社　大阪支店　九州営業所　名古屋支店　総合研究所　生産本部
海外拠点：中国　台湾　韓国　メキシコ　アメリカ　ベトナム　タイ　インドネシア　インド

硫酸銅めっき添加剤分析に894CVS
• 試料自動注入から多検体連続測定まで自動化対応
• 用途に合わせて電動ビュレット数も自由に選択
• 正確な分析と省力化を実現
Metrohm

メトロームジャパン株式会社
www.metrohm.jp
03-4571-1746

日進化成の不溶性電極　アノデックシリーズ
光沢剤消耗抑制！
隔膜不要！
アノデック 100CA

特徴
● 光沢剤コスト50%削減　※当社従来品比
● 金属イオン価数変化抑制
● 硫酸銅めっき液中の有機添加剤の分解反応を抑制
● 従来同等の電極ライフ
NISSIN 日進化成株式会社
NISSIN KASEI CO., LTD.
ISO14001
本社 〒120-0037 東京都足立区千住河原町11番5号　TEL 03-3888-1181 FAX 03-3870-2121
URL：www.nissinkasei.com　E-mail：sales@nissinkasei.com

駒沢工業

めっきラインの設計、排気装置の点検、悪臭の除去、作業環境改善などを自然を身近に生かした技術力で提案

人と地球にやさしい作業環境と設備を提唱

【施工例】
クロム酸ミスト処理装置（上段左）
活性炭吸着脱臭装置（上段右）
局所排気装置（中段左）
風力式低温水切り乾燥機（中段右）
プリント基板メッキライン（下段）

表面処理設備メーカーの駒沢工業㈱では、創業より一貫して「自然を利用した技術」「地域環境にやさしい技術」「人にやさしい技術」「人にやさしい作業環境と設備」を提唱し、真の技術と新しい環を考査した技術の調和を基本に、〝技術は自然発想から生まれる〟を社是として日々研鑽を重ね、よりよい着想で、より秀れた機器を開発、デセプションのない真の技術を表面処理業界に提供している。

同社は大別すると、設備部門、工事部門、メンテナンス部門の4つの部門で構成される。

設備部門では、風力式低温水切り乾燥機、各種乾燥機装置、P&F・JAC精密洗浄乾燥設備、KM式排ガス処理装置、クローム（酸・アルカリ）ミスト排気処理装置、脱脂洗浄機、K・R多目的メッキ実験装置、KP型堅形耐食ポンプなどの主要製品に加え、メッキ設備、アルマイト設備、純水・超純水供給設備、塗装設備、局所排気設備（労働安全衛生法に基づく）、排ガス処理設備、脱臭装置活性炭吸着脱臭設備などを扱う。

製作加工部門では、鋼材加工品、ステンレス加工品、PVCプラスチック加工品、FRP加工品、非鉄金属加工品、耐食金属（Ti）等の加工。

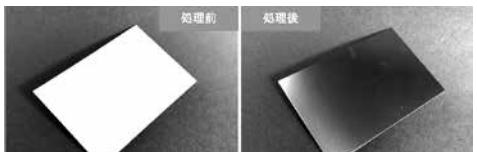
工事部門では、プラント配管工事、鋼管、ステンレス管、塩ビ管、テフロン、チタン、ガラス管等プラントダクト工事、塩ビタクト、FRP、鋼管、ステンレス、各スパイラルダクト管プラント関連工事全般。

メンテナンス部門では、過去に同社が納入したプラント類、設備や装置・設備各種ポンプ、送風機について顧客の生産活動を守ることも重大業務のひとつと捉えて保守整備工事を行う。

また、近年労働環境や、環境整備が叫ばれていることから、同社では『局所排気等労働衛生工学研究会』のメンバーとして適切な局所排気装置の設計施工に勤めている。

同社の30年以上に渡る豊富な経験と技術を礎に人体や環境に有害なガス・蒸気、不快な悪臭などを効率良く、かつ確実に処理して大気に放出するために、信頼性が高く、かつ過不足のない適正な設計・計算がなされた各種排ガス処理装置の設計・製作・施工を行っている。

薬品に浸けるだけの強力めっき剥離剤「エスバックH-150シリーズ」



佐々木化学薬品

化学薬品の設計・開発、製造（調合、充填）、仕入れおよび販売を手掛ける佐々木化学薬品㈱（本社京都市・佐々木 智一社長）では、〝生産性の向上〟〝コスト削減〟〝高品質のさらなる追求〟の3つの活動理念に基づき、顧客ごとの異なる命題に、業務のあらゆるプロセスを通じて最適な『解』を提供する。

同社の金属表面処理事業は、化学研磨液・エッチング液・電解研磨液、酸化皮膜除去剤・溶接焼け除去剤・サビ取り剤、洗浄剤、剥離剤、めっき液―と多岐にわたる薬品を提供できるのが強み。

今回は薬品に浸けるだけでニッケルめっきの剥離が可能な「金属上のめっき剥離剤 エスバックH-150シリーズ」について紹介する。めっきの剥離に関して現場からは「ヤスリがけなど物理的にめっきを剥離するのが面倒」「素地への影響なく剥離したい」「細かい部分のめっきが剥離しきれない」などの声が聞かれる。これらの問題に応えたのが「エスバックH-150シリーズ」だ。この剥離剤を使うことで素地に影響を与えることなく、鉄または銅・銅合金素地上に施されたニッケル・亜鉛・銅めっき皮膜を剥離することができる。〝薬品に浸けるだけ〟で処理が可能なため、細かい部分にも液が浸透し、めっきをきれいに剥離する。また、浸けている間に他の作業ができることから〝作業の効率化〟にもつながる。

素地とめっき皮膜から選ぶ該当製品は、次の通り

●エスバックH-150
素地：銅・銅合金、めっき被膜：ニッケル・亜鉛

●エスバックH-150
素地：鉄・鉄鋼、めっき被膜：ニッケル・亜鉛・銅

●エスバックH-150PN
素地：鉄・鉄鋼、めっき被膜：リンニッケル

●エスバックH-150PN
素地：ステンレス、めっき被膜：リンニッケル

なお、剥離処理の際にシアン化ナトリウムを使用（鉄素地の場合のみ）するが、シアン化ナトリウムの使用が難しい場合は、ノンシアンタイプのエスバックH-150Nも用意。詳細は、同社Webサイトで確認いただきたい。（https://www.sasaki-c.co.jp/）

訃報

石川和男 氏

十日会会員の株式会社足立工業（本社・東京都足立区千住曙橋22の8／野澤宗司代表取締役）の前代表取締役である石川和男 氏（享年80歳）が令和5年9月14日に逝去され、故人の遺志並びに遺族の意向により通夜及び葬儀・告別式は近親者のみにて執り行った。

日本鍍金新報　広告のご用命は 03(3662)8736

マクダーミッド 名古屋に国内2カ所目の施設を開設

表面処理剤や、めっき薬品メーカーのMacDermid Enthone Industrial Solutions（本社米国コネチカット州ウォーターベリー市）は、地域の自動車産業へのサポート強化を目的に日本国内に新たに施設を開設する。

このラボラトリーは、名古屋市に新設され自動車エコシステムに不可欠な同地域の一次（Tier1）、二次（Tier2）サプライヤを始めとする企業への技術サービスを提供する。

名古屋地域の顧客へ技術サービスを提供するMacDermid Enthone Industrial Solutionsの日本法人マクダーミッド・パフォーマンス・ソリューションズ・ジャパン㈱（神奈川県平塚市）は、ラボラトリーが名古屋市に新設されることで、顧客がめっき浴（多くは24時間稼働）で重要な運転パラメーターを決定する際、さらなる所要時間の短縮が可能となる。日本国内において新たな拠点が設けられることにより、すべての自動車メーカーにとっては、事業継続計画（BCP）を作成する上での要件が満たされることになる。

「名古屋のお客様には、すでに40年以上にわたって表面処理用薬品をお届けしていますが、同地域へ進出できることは弊社の大きな喜びとするところです。日本のお客様は弊社の環境に優しい製品群の価値を良く認識されており、この戦略的投資は弊社が日本へ長期的にコミットすることの証です。私たちはこれまでに蓄積してきた信頼が新たなビジネスに結びつくものと期待しております」とMacDermid Enthone Industrial Solutions上席副社長Richard Lynch氏はコメントした。

Julian Bashore 社長

マクダーミッド・パフォーマンス・ソリューションズ・ジャパン㈱の代表取締役社長Julian Bashore氏は「10月1日にソフトオープンをおこない、2024年の4月にはすべての設備が整う予定です。弊社の自動車ビジネスは大きく成長したことによって、日本でさらなる事業拡大を実現出来ました。日本は特に持続可能性について積極的に取り組む傾向があるので、電気自動車の市場へ弊社のサービスを拡大出来るものと期待しております。また、愛知県へ投資することにより、日本を拠点とする自動車部品メーカー様（ブレーキキャリパー・ドアハンドル・エンブレム・ファスナーなど）の市場へ弊社の浸透がさらに加速するものと期待しております」と述べている。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

「MacDermid Enthone Industrial Solutions」の名称で事業展開中のMacDermid Enthone Inc.は、1992年の創業以来、あらゆる分野に対応する化成品の製造（表面コーティング用途）で世界のマーケットリーダーとして活動している。

同社の製品群は表面仕上げ産業とユーザーの日々変化するニーズに対応するばかりでなく、持続可能な技術と高度な技術サポートを提供している。また、MacDermid Enthone Industrial Solutionsは、Element Solutions Inc（NYSE: ESI）の事業ユニット。Element Solutions Incは特殊化成品業界のリーダーとして、人々が日常的に使用する製品機能をさらに高めるために幅広いソリューションを提供している。

信頼と信用をかたちに

合同会社 南越化成

FRP加工・成型・施工

〒315-0121 茨城県石岡市真家422

電話 0299-46-0063　E-mail info@minamisyou.co.jp

神奈川表面技術研究会 工場見学会のお知らせ

10月26日㈭ 9時30分（福岡空港 集合）
10月27日㈮ 12時分頃（福岡空港 解散）

【アスカコーポレーション㈱ 様】

「キラリ 人、技術、未来、そして自然。」を企業理念に、開発型のめっき企業として、ウエハへの無電解めっき（UBM）、電解めっき（BM）等、最先端の技術を活かした事業活動を、積極的に展開。

また、九州工業大学をはじめとする産学連携研究開発に加え、地域貢献活動や、環境保護をはじめとするSDGsにも積極的に取り組まれている。

【㈱正信 様】

敷地面積 9,000 ㎡工場建物 5,500 ㎡の広大な敷地を、福岡市博多区の中心部に確保することにより、搬出入・めっき処理・保管も含めたトータルでの工程において、長尺品・重量物への効率的な対応を可能としている。特に、電気亜鉛めっき（500トン／月）、光沢錫めっき（160トン／月）は、西日本最大級の処理能力を有する。

申込先：
登録フォーム
https://forms.gle/rDq43bZSYsWhUyPt5
または，
神奈川表面技術研究会 庶務担当理事 堀内
(E-mail: horiuchi@kanto-gakuin.ac.jp)

「貴金属に関わる研究助成金」の研究テーマを募集

田中貴金属記念財団

助成金額1000万円の「Umekichi Tanaka Award」を新設
国内の教育機関・公的研究機関を助成

一般財団法人 田中貴金属記念財団（代表理事：岡本英彌）は、2023年度「貴金属に関わる研究助成金」の研究テーマを募集中、締め切りは11月30日㈭。

この助成金は、貴金属に関わる新しい研究・開発、製品開発に革新的な進化をもたらす研究・開発を行う国内の教育機関や公的研究機関が対象。

今回で25回目となる本年度の受賞者には、今回新設となる「Umekichi Tanaka Award」にて最高金額1000万円をはじめ、総額2000万円を授与する。

「Umekichi Tanaka Award」は、貴金属の工業利用の拡大に尽力した創業者・田中梅吉の名を冠し、本アワード第25回目の節目を記念する賞。その他の賞についても、賞の名称を改め、より魅力的な助成金制度を目指す。

応募概要は田中貴金属記念財団ホームページ（https://tanaka-foundation.or.jp）を参照のこと。

水処理・新製品特集

日本鍍金新報では、11月号を水処理・新製品特集として、浄水、排水処理や広告掲載各社の新製品の情報をお届けいたします。

掲載各社の皆様や新規掲載をお考えの方々は、お早めに弊社までお問い合わせください。

産業通信㈱ 日本鍍金新報編集部
☎03・3662・8736

省エネルギー・公害防止に役立つ液面フローティングボール「マートボール」

あらゆる化学薬液に対応するモデル展開で使用価値は広がる

谷口ヒーターズ

薬液加熱ヒーターを製造販売する谷口ヒーターズ㈱の「マートボール」は、プラスチック樹脂をブロー成形で中空球体にした耐薬品性・耐寒性・耐熱性があり、軽量で丈夫な液面フローティングボール。

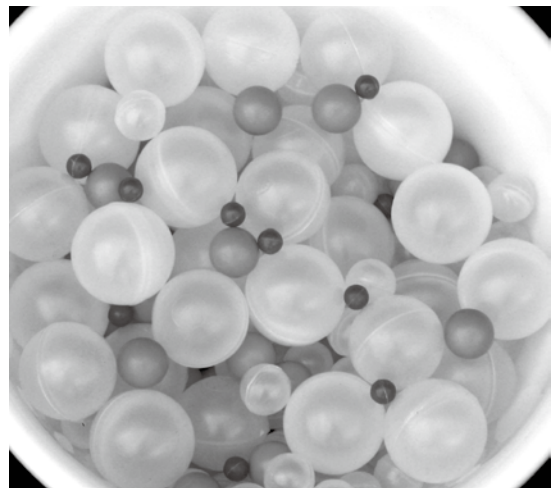
1975年の販売開始以降も開発改良を加え、2022年に発売したニューモデルや新規格サイズの製品が好評を得ている。

「マートボール」は軽くて丈夫なPP製で、金属の酸洗い・薬液調合・高温洗浄など表面処理工程において槽内の薬液に浮かべて使用されるが、マートボールで液面を被膜することにより保温性を高める〝省エネ〟製品として、液の飛散やミスト・ガス・臭気を防ぐことで建物の鉄骨や機械等の腐食を最小限に抑えられ、働く人の安全と衛生の保全を図る〝公害環境対策〟としても採用されている。

「マートボール」基本型MATは、球体型の乳白色PP製で0℃～110℃の連続作業に耐えることが可能。規格サイズは、直径10、20、40、50、70㎜に、今回直径7㎜のPE製（0℃～80℃）が加わった。

このほかフッ化物含有クロームめっき液など強酸・強アルカリ・超純水向け、高純度PFA製画期的新製品の円盤型MATF「マートフロロボール」や、PVDF（ふっ素樹脂）製の高耐薬性で新型ダイヤモンドカット形状により液面での安定性が向上したMATBe「マートビューティーボール」、難燃性白色PP/HT-PVC/PPS製のMATDi「マートダイヤボール」などがラインナップされ、様々な用途に応じ、時代にマッチする可能性を持つ「省エネ型新世代商品」のひとつとして注目されている。

●問い合わせ先
谷口ヒーターズ㈱　千葉事業所
☎0438・63・1113

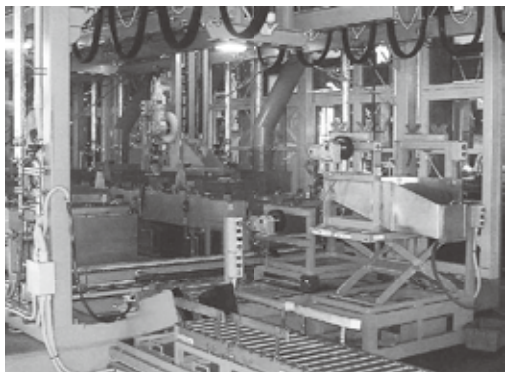


マートフロロボール　画期的新製品
MATF　《高純度PFA製》
NEW
《円盤型》
■強酸・強アルカリ・超純水向
フッ化物含有クロームメッキ液など
■マイナス50℃～150℃の連続作業に耐えることができます。

マートビューティーボール　新デザイン
MATBe　《PVDF製》
NEW
《ダイヤモンドカット型》
■マイナス15℃～110℃の連続作業に耐えることができます。

メッキ薬品・装置・研磨材料
長谷川鍍研資材株式会社
〒110-0013　東京都台東区入谷2－30－7
☎03(3872)1191(代)～3

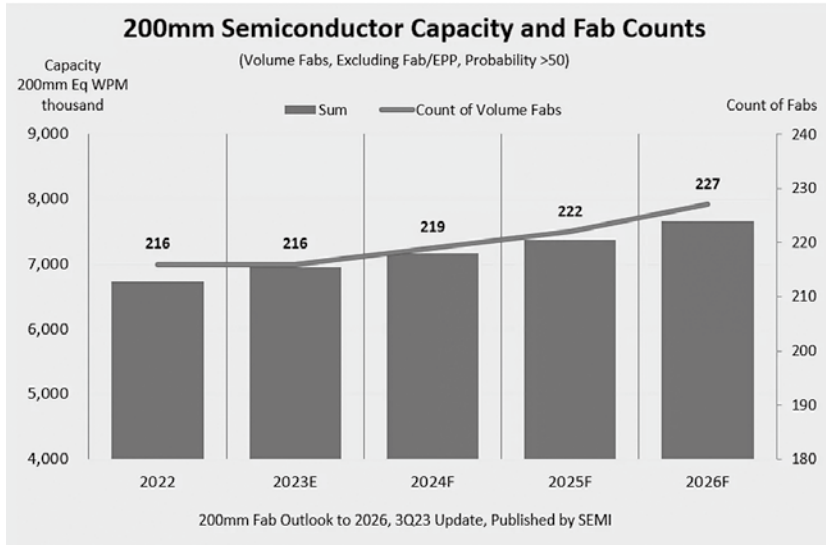
＊表面処理業界の未来へ提案します＊
情報 Information
技術 Technology
安全 Security
営業品目
1. 表面処理薬品・化学工業薬品製造・販売
2. 機械・器具＆表面処理装置・設備設計・施工
3. 排水・排ガス処理装置施工・メンテナンス
4. 表面処理工場向け「T・S 方式セキュリティシステム」
5. 産業廃棄物処理・土壌汚染状況調査
大原研材株式会社
〒124-0005　東京都葛飾区宝町1－3－11
TEL(3697)3241　FAX(3697)8915
http://www.ohhara.co.jp/

各種メッキ装置の総合メーカー

〈特徴〉
20有余年のメッキ業の経験を充分に生かした設計、製作ですからおまかせ下さい。
○手動及び自動メッキ装置　○メッキ装置関連付帯設備
○メッキ装置関連省力機器　○公害防止機器全般
設計製作
CMK　株式会社 オカダテックス
本社　千葉県野田市花輪735
工場　千葉県野田市上三ヶ尾261-9　☎0471（24）4151番

SEMIリポート

SEMI（本部：米国カリフォルニア州ミルピタス）は9月19日（米国時間）、最新の200mm Fab Outlook [*] レポートにおいて、半導体メーカー各社が2023年～2026年までの期間にEPIを含む12の新規200mmファブを建造し、その結果、200mmファブの生産能力は全世界で14%増の月産770万枚に達し、過去最高を更新するとの予測を示した。

コンシューマ、車載、産業用電子機器に不可欠なパワーおよび化合物半導体が200mm投資の最大の原動力となっている。特に電気自動車（EV）のパワートレイン用インバータと充電ステーションの発展が、EVの普及拡大にともなって世界の200mmファブ生産能力を加速している。



SEMIのプレジデント兼CEOのAjit Manocha（アジット・マノチャ）は次のように述べている。

「世界の半導体産業が200mmファブの生産能力を過去最大にまで増強することは、まさに自動車市場の成長に対する強い期待を浮き彫りにしています。車載半導体の供給は安定しましたが、EVに搭載される半導体の増加や充電時間の短縮努力が生産能力拡大に拍車をかけています」

乾燥機　スーパードライヤー
均一圧力分布の激風により水分を一気に吹き飛ばす。多彩な運転モード搭載！
高速の制止乾燥、変型・シミなし、溶剤不要！
・静止したまま高速・低温乾燥（標準：2～5分、60℃）
・重なったままでも大丈夫
・欠けなし、傷なし、シミもなし
・曲がりやすい製品も変型なし
・極小微細部分も飛散せずに高速乾燥
・乾燥後の半田ぬれ性に優れている
・印字処理時にインクをはじかない
・電気抵抗等の電機特性に優れている
101型
本体寸法 800W×1200D×1760H
乾燥室寸法 320W×345D×330H
フロア5.5KW
加熱 電機ヒーター15KW または 蒸気熱交換器20KW相当
乾燥例　極小チップ部品、極薄板製品、パッケージ部品、極細線材、変形もの、重なり製品、極小ボール製品、装飾部品等

株式会社 共和機器製作所
埼玉県川口市八幡木2-15-15
TEL 048-281-6940　FAX 048-285-2093

みなさまのニーズに即、お応えできる材料商社
関東金誠株式会社
●取り扱い商品
非鉄金属／めっき材料／研磨材料
本社　〒123-0844 東京都足立区興野1丁目14番19号
☎03（3852）7221／FAX 03（3852）7224
高崎営業所　〒370-1207 群馬県高崎市綿貫町746番地
☎027（346）3925／FAX 027（346）3920